

第5検討部会 会議録

会議の名称	第15回 第5検討部会
開催日時	平成20年3月14日(金)18時00分から20時00分
開催場所	職員会館
出席者	(部会長)石井副委員長 (副部会長)伊田(昭)委員、豊田委員 (委員)庵地委員、木岡委員、北原委員、椎橋委員、山田委員、堀委員
会議内容	1.自治基本条例に盛り込みたいこと 2.素案の作成プロセス、作成スケジュール 3.広報・PIチームの活動内容、立ち上げ方法
会議資料	第15回部会資料
発言内容	<p>自治基本条例に盛り込みたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部会で第3回運営調整部会までに、自治基本条例に盛り込みたい事項を整理し、発表することになっている。 ・条例の基本体系については現状では案ということで理解した。 ・皆さんにワークシートを提出して頂き、基本体系案に沿って、皆さんの意見を整理した。 ・例示として前回議論した理念と目的を、同じようなものはまとめて私なりに整理してみた。提案に向けては、部会として整理して出す方法と個人名ははずすもののでできるだけ多くの個人の提案を出す方法がある。どちらがいいだろうか。(部会長) ・ある程度はまとめたほうがいい。 ・最終的にはまとめるべきであるが、現段階では多くの事項を出し合ったほうがいいと思う。 ・それでは、私なりに見出しは整理したいと思うが、基本的にワークシートの意見、本日の議論について、まとめないで提案したい。おそらくそれぞれの提案について矛盾することもあるかとも思うが、一つにはせずにいろいろな意見があることとしたい。 ・それでは順次議論していきたい。 <p>自治基本条例の目的、理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最高規範性を入れたい。「市民自治」のまちづくりという言葉を入れたい。市民自治の定義も必要である。「協働」、「情報共有」という言葉も重要である。市は自主的に法律の解釈をするという考えも必要ではないか。「環境」という言葉も織り込みたい。 ・最高規範性は必要だ。市民や議会が考えて、市役所が実行するということを確認にしたい。ハンディキャップのある方への配慮も盛り込みたい。 ・国の政策に基づくということではなく、市民の声をベースに行政運営を行うということを確認にしたい。市は市民と一緒に汗を流すということが重要である。 ・最高規範性が必要だ。安心安全、子どもがいきいきということを盛り込

みたい。

- ・最高規範性が重要である。自分たちのことは自分達で決める、住民同士で努力するということを盛り込みたい。市と市議会は対等ということを持ち込みたい。
- ・最高規範性がないと自治基本条例ではない。子どもという言葉が多い。子どもというと小学生低学年までのイメージだ。違和感がある。人間を育てることが重要となっている。子どもだけでなく、18歳くらいまでの人間形成が重要だ。青少年というのもしっかりこない。
- ・子どもに対して自治を説明することが重要だ。
- ・青少年には自分達で社会を作っているという意識が薄い。子どもとお年寄りという言葉では、その間の世代が抜け落ちてしまう。
- ・「住みやすい」という言葉に抵抗がある。「より良い」の方がいいと思う。「子ども」という言葉も入れたい。次世代という言い方もある。
- ・子どもと親が共に育つという環境形成が重要である。「子どもも親も育ていくまち」という表現はどうか。市民が権利を持つということはリスクや負担も負うということを明記して欲しい。主張するには責務が伴う。
- ・条例は規制ではなく、こういうことができるというような表現にして欲しい。自分達でものごとを考えて決められるということを持ち込みたい。無関心、無責任の人が少ないまち、いろいろなことに関心を持てる人が多く済んでいるまちをめざしたい。
- ・昼間と夜間で人が違う。いわゆる埼玉都民と呼ばれる人にもっと市政に参加して欲しい。

自治の仕組み

- ・素案の段階で意見を組み入れる市民提案制度の仕組みを持ち込みたい。住民投票は大和市で16歳以上としている。若い世代に関心を持ってもらうためには16歳以上でもいいかと思う。
- ・国で有権者の対象が18歳以上に変更するという議論があるので、住民投票の対象は有権者という表現でいいのかと思う。署名の効力は1/50程度がいいのではないか。川口市では8000人程度となる。

- ・住所を有する外国人も含めてもいいと思う。
- ・情報公開、公募の実施が重要である。
- ・住民の声が市を動かす原動力となったらいい。

首長及び執行機関運営の基本指針

- ・横断的なテーマを担当する副市長がいてもいいと思う。
- ・現状の1名体制で充足していると思う。
- ・内部、外部をそれぞれ担当する副市長がいてもいい。
- ・人事評価は盛り込みたい。多選については努めたいということで盛り込んだらどうか。
- ・多選規定は好ましくない。あくまでも住民が選挙で選ぶということが重要だ。
- ・2期になると投票率が低くなる。多数となっても信任されたのかわから

	<p>ない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の意識を高めないといけない。そういう場合には対抗馬を立てればいい。 ・現職が強いと対抗馬が出ない。立派な人は3期位でいいのではないか。 ・条例策定の足かせにならないよう配慮したほうがいい。 ・外部監査を入れて欲しい。議会に傍聴席を作るべきだ。出席者で希望する者からは感想文をもらい、活かしていけばいい。 ・傍聴に来る人が固定化している。 ・計画を決める前に意見を募ること、監査の充実を盛り込みたい。 <p>議会運営の基本指針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会の傍聴席については確かに改善が必要である。予算審議では予算書も配られずに、おそらく何を議論しているかわからないだろう。 ・インターネット動画などの整備も必要ではないか。 ・議員定数を定期的に見直すことを盛り込みたい。 ・議会の情報の公開、議会も市民の意見を聞くことが重要だ。 ・地元地元といわずに、全市的な観点で行動して欲しい。議会は議論を闘わず場になって欲しい。 ・議会便りがいいことが問題だ。 ・5～10年前に比べれば、ずいぶんオープンになってきている。会派ごとでは取材もしている。チェック機能を果たすことや公開討論会を増やすことには賛成である。 ・市民から信頼を得ることが必要である。 <p>市民協働の基本方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北九州市のような地域ごとの市民協議会を盛り込みたい。 ・地域の文化や自治を次の世代に伝えたい。 ・ハンディキャップの克服を持ち込みたい。 ・草加市のような市民提案組織があるといいと思う。 ・川口市は中小企業のまちなので、何か中小企業対策を盛り込みたい。 ・市が事業をやる時には公募を募り、市民の意見を盛り込んで欲しい。 ・市民側にも新しい参加を受け入れる場が必要である。 <p>素案の作成プロセス、作成スケジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の議論を受けて、起草委員会の設置は最終局面にし、それまではとりまとめチームで編集するようにした。(部会長) <p>広報・啓発・広聴チーム(仮称)の設置について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これで提案したい。
<p>次回以降日程 (予定)</p>	<p>第3回運営調整部会 3月24日(月)18:00～20:00 第16回 3月31日(金)18～20時</p>